

前払金と前受金

練習問題

以下の一連の取引を仕訳しなさい

問1-1 : A商店に商品400円を注文し、手付金100円を現金で支払った。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問1-2 : A商店から商品400円を仕入れ、手付金100円を差し引いて残額は掛けとした。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2-1 : B商店より商品500円の注文を受け、手付金として200円を現金で受け取った。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2-2 : B商店に商品500円を売り上げ、手付金200円を差し引いて残額のうち100円は同店振出の小切手で回収し、残額は掛けとした。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

解答解説

問1 - 1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
前払金		100		現金		100	

注文した段階では、仕入の仕訳はおきません。
手付金を支払ったときに、後に商品を受け取れる権利は前払金(資産)で仕訳。

問1 - 2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
仕入		400		前払金		100	
				買掛金		300	

以前に前払金を払っている注文の商品を仕入れた時に、仕入の仕訳がおきます。
相手勘定は前払金の減少と掛け仕入なので、買掛金で仕訳。

問2 - 1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
現金		200		前受金		200	

注文を受けた段階では、売上の仕訳はおきません。
手付金を受け取ったときに、後に商品を渡す義務が生じるので、前受金で仕訳。

問2 - 2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
前受金		200		売上		500	
現金		100					
売掛金		200					

以前に前受金を受け取っている商品を売り上げた時に、売上の仕訳がおきます。
相手勘定は前受金の減少と、同店(B社)振出の小切手を受け取ったので現金の増加、掛け売上の売掛金の増加で仕訳。